

いつもとは全く違う年度はじめですが...

全教職員がみなさんを応援!

あせらず、着実に前進していこう

4月8日に始まった令和2年度ですが、再び新型コロナウイルスの感染拡大防止のための臨時休校に入りました。いつもとは全く違う春を迎えています。生徒のみなさんの中には、さまざまなことに不安やいら立ちを感じたり、気分が落ち込んだりしている人も多いことでしょう。なかなかすぐに気持ちを切り替えるのは難しいことだと思いますが、意識的に自分を奮い立たせて、将来に向けて前向きに行動を開始しましょう。本校の全教職員が、みなさんのことを支え、応援していきます。一緒に頑張るこの状況を乗り越えていきましょう。

特集 2020年入試を振り返る

“最後のセンター試験”



全国的に『安全志向』強まる

今回の2020年入試をもって、平成元年(1989年)から行われている「センター試験」が廃止され、2021年入試からは、新たに「大学入学共通テスト」が導入されます。これに伴って、大学入試のしくみが大きく変わります。これにより、受験生の心理としては、今年のうち確実に合格をしたいという「安全志向」が強まり、全国的にその影響が現れています。志望を下げて確実に合格できる大学を受験したり、推薦・AO入試を使って早めに合格を決めたりする動きも見られました。

1 センター試験の結果

■「全国平均点」の状況

☆ 国数英は難化・平均点ダウン

☆ 数学では「共通テスト」を意識した出題も

「河合塾ガイドライン4・5月号」によると、以下のような分析結果が出ています。

英語では「筆記」「リスニング」とともに平均点が昨年よりダウンしました。数学でも、数学①(I+A)、数学②(II+B)ともに平均点がダウンしました。特に、数学①「数学I・数学A」については、前年より、-7.8点と大幅にダウンしており、現行課程に移行した2015年入試以降、最低点となり

ました。「大学入学共通テスト」導入を翌年に控え、今年のセンター試験にも一部で新しい形式の出題や、大学入学共通テストを意識したような出題が見られました。なかでも数学①(I+A)は、複雑な設定で、解答方針が立てにくい問題や、参考書等であまりみかけない目新しい問題が出題され、苦戦した受験生が多かったようです。なお、国語でも平均点はダウンし、配点の大きい国数英の3教科はすべて平均点ダウンとなりました。

● 2020年センター試験 国数英の全国平均点 前年比

	2020年	2019年	前年比
国語(200点)	119.33	121.55	-2.2
数学①(I+A)(100点)	51.88	59.68	-7.8
数学②(II+B)(100点)	49.03	53.21	-4.2
英語(筆記)(200点)	116.31	123.30	-7.0
“(リスニング)(50点)	28.78	123.30	-2.6

● 5教科型(900点満点)の平均点の推移



※7科目型平均点は河合塾推定
 7科目文系型: 英・数(2)・国・理(1)・地公(2)(900点満点)
 7科目理系型: 英・数(2)・国・理(2)・地公(1)(900点満点)
 *英語は筆記+リスニングの250点を200点に換算して集計
 *理科①は2科目で1科目とする
 (「河合塾ガイドライン」より引用)

上記のグラフは、河合塾が推定するセンター試験7科目型(900点満点)の平均点推移です。今年度の平均点は7科目文系型(900点満点)が547点(前年差-22点)、7科目理系型(900点満点)が552点(前年差-19点)でした。英語、数学、国語の主要3教科の平均点ダウンが影響しました。なお、7科目理系型では、「物理」や受験者の多い「地理B」などで平均点がアップしており、7科目文系型に比べ平均点のダウン幅が小さくなっています。

7科目型では、文系・理系型とも540点(得点率6割)以上の得点層が昨年より減少しています。また、得点率8割以上の高得点層は文系型で約3割減、理系型で約2割減となりました。今年のセンター試験は平均点がダウンしただけでなく、高得点が取りにくい状況だったことがうかがえます。

■ 本校の平均点の状況 本校としては厳しい結果となった

本校の平均点も、国数英の難化の影響を受けたこともあり、昨年度より低下しました。得点率60%以上の人数も減少してしまい、国公立大の進学希望者にとっては苦しい展開となってしまいました。

2 国公立大入試の結果

センターで苦戦するも 43名合格

福島大13名 県立医科大・看護3名 山形大3名

公募推薦・AO入試では19名が合格し、大変すばらしい結果となりました。一方、一般入試では、一次試験であるセンター試験で大変厳しい結果であったこともあり、その後の二次試験での健闘は見られたものの、結果は、国公立大学の合格者数の全日程の合計で、前年より18名減少し、43名となりました。

大学別では、福島大、県立医大看護、会津大、山形大をはじめとする東北地区の大学に加え、電気通信大、新潟大、茨城大、宇都宮大など他地区の大学にも合格者を出しています。

【試験日程別合格者数内訳】 ()は昨年度

- 推薦・AO入試 19名 (20名)
- 前期・独自日程試験 23名 (36名)
- 中・後期日程試験 1名 (5名)

合計 43名 (61名)



◆ 郡山東で国公立大受験に成功した人の共通点

(1) 担任や保護者とよく話し合い、適切な「二次出願」をする

実際に出願先の決定は、本人の大学で学びたい学問系統の希望に加え、センター試験後の合否判定結果と、これまでの記述模試での成績や志望大学の試験科目と傾斜配点、出題内容等を総合的に判断して行います。そして、各自の実力に見合った適切な「二次出願」ができた人の合格率は高くなります。そのためにも、日頃から担任や保護者と進路についてよく話し合って、互いの考えを理解し、良好な関係を築いていることが重要となります。

(2) 最後まで「学校中心の勉強」を継続する

毎日の授業をはじめ、課題、各種課外、考査や各種テストなど、本校で行われているさまざまな学習活動を中心とした勉強を、最後まで継続して行っていくことが最も有効な学習方法です。そして、担任や教科担当者のアドバイスをよく聞いて、それを実行できる人が力を伸ばしていきます。本校では、3月の卒業式の後も、最後まで継続して指導を行い生徒のがんばりを支援していきます。先生方の力を、ぜひ有効に活用してください。

(3) さまざまな入試方式を計画的に活用する

国公立大入試にも、一般入試、公募推薦、AO入試と、さまざまな方式があります。それらのしくみを理解し計画的に活用することで、受験のチャンスを増やすことが重要です。また、「3月の後期日程試験まで継続してやり抜こう」という姿勢で勉強に取り組んだ人が合格していきます。

特に、今回は「公募推薦・AO入試」を積極的に利用し、多数の合格者数(19名)を出すことができた。ただし、合格には、計画的な準備と基礎学力やコミュニケーション力が必要となります。

国公立大合格者数 (過去3年比較)				公立大学			
大学名	2020年	2019年	2018年	大学名	2020年	2019年	2018年
北海道教育大学	1	1	1	釧路公立大学			4
北見工業大学		1	1	名寄市立大学	1		1
室蘭工業大学			1	青森県立保健大学		1	
宮城教育大学	1			青森公立大学	2	4	1
秋田大学	2	3	1	岩手県立大学		2	1
山形大学	3	5	1	宮城大学	1	2	2
福島大学	13	19	14	国際教養大学			1
茨城大学	2	3	2	秋田県立大学			1
宇都宮大学	1		1	山形県立保健医療大学			1
群馬大学	1			会津大学	1	2	3
埼玉大学		3	1	福島県立医科大学	3	3	6
電気通信大学	1			高崎経済大学			2
新潟大学	2	1	3	埼玉県立大学	2		
信州大学	1		1	新潟県立看護大学		2	
鳥取大学			1	新潟県立大学	1	3	1
鹿児島大学		1		長岡造形大学	1		
琉球大学		1		山梨県立大学	1		
合計	28	38	28	都留文科大学	1		
				諏訪東京理科大学			2
				長野大学		1	2
				長野県立大学		1	
				静岡県立大学		1	
	2020年	2019年	2018年	福知山公立大学	1		
国公立大合格者数	43	61	56	尾道市立大学		1	
				合計	15	23	28

3 私立大入試の結果

私立大学の合格者数はのべ255名で、主な大学は以下の通りです。近年の文科省による「定員の厳格化」を受け、以前より合格者数を抑えている大学が増えており、特に、東京、千葉、埼玉、神奈川など関東の大学では軒並み難易度が上昇しています。その影響は地方の私立大学にも及んでいて、東北学院大、東北福祉大など仙台市にある大学や、地元郡山市の日本大工学部も以前より難しくなっています。

【主な合格大学】

東北医科薬科大学(薬)、東北学院大学、東北福祉大学、東北工業大学、宮城学院女子大学、日本大学工学部、郡山女子大学、国際医療福祉大学、立教大学、駒澤大学、医療創生大学、奥羽大学、神田外語大学、神奈川大学、千葉工業大学、大東文化大学、東洋大学、東海大学、白鷗大学、文教大学、明治学院大学、獨協大 など多数

4 全国の詳細な入試データについて

6月までに、各予備校などから2020年度入試の分析結果が公表されます。収集した情報は、整理して生徒のみなさんにも伝え、今後の指導に生かしていきます。今後の情報に注意してください。